指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	神林有機資源リサイクルセンター	評価対象年度	平成　28　年度
指定管理者名	農事組合法人　かみはやし有機　代表理事　遠山　利一	所管課	神林支所産業建設課
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日(5年)	評価者(課長)	長柄　長司

①事業実績

利用実績	堆肥製造量:990t　フレコン:515t、小袋:20 t、バラ堆肥:352t(販売量計:887t)　蓄ふん回収量:3,860t
サービス向上の取り組み	堆肥散布面積:243ha

②管理経費

区分		前々年度(26年度)	前年度(27年度)	当該年度(28年度)	合計	備考
収入	指定管理料	1,814	1,814	1,814	5,442	協定額:8,188千円
	蓄ふん回収処理料金	4,684	4,970	5,474	15,128	回収量3,860t
	堆肥売り上げ収入	7,005	6,575	7,118	20,698	販売量887
	散布料金	4,818	4,493	4,580	13,891	散布面積243ha
	その他	653	1	2,408	3,062	棚卸差益、預金利息等
	計	18,974	17,853	21,394	58,221	
支出	管理経費	18,418	17,986	18,995	55,399	
	(うち人件費)	7,225	7,486	7,512	22,223	給料、賃金、社保、年金等
	(うち光熱水費)	4,195	3,693	3,784	11,672	電気、燃料、上下水道、ガス
	(うち修繕費)	3,867	3,042	4,506	11,415	攪拌機、ﾛｰﾀﾞｰ、ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ、運搬車等
	(うち委託料)	1,339	1,383	841	3,563	電気保安管理、検査料、事務経理
	自主事業費					
	計	18,418	17,986	18,995	55,399	
差引		556	▲ 133	2,399	2,822	

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	5	10.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
	(評価理由) 当施設については、主に農家の方の利用が多く畜糞回収、有機肥料の製造・販売など適正に管理している。資源循環型社会の実現に向け有機資源の再利用の促進を図るた畜産農家の協力を受け施設の有効利用が図られ前年度より製品製造量、散布量、販売量が上回った。				
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映してさせているか	8	4	6.4
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
	自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4		
		利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか			
	(評価理由) 堆肥の施設での引き取りは利用者の都合に合わせるなどサービスの向上も図っている。また、堆肥の配達によるサービスの提供により売上に貢献している。自主事業は実施していない。				
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費縮減の具体的な取り組みはされているか			
	適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4
		指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか			
	(評価理由) 収支の実績は計画に沿って適正に行われている。施設の機械設備は、特殊であることや設置から相当の年数が経過しているため、修繕費は年々嵩んできている。				

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	5	4.0
	(評価理由) 職員は3人(パート含む)であるが役員を含めた中で苦情やトラブル等があった場合は対応している。また、製造された堆肥の分析を検査機関で実施し安全の確保や個人情報の管理は適正に行っている。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	5	8.0
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) 施設の機械設備の点検は利用者に支障のないように実施し、事件、事故、犯罪等もなく施設及び敷地内の防犯に努めている。				

④総合評価

評価点合計	81.2	評価ランク	A

⑤管理運営に対する全体的な評価

収入については、職員・役員の努力により畜糞回収・処理料金、堆肥散布・販売料金も前年度より増えてきている。機械設備についてはメーカーの協力により整備箇所の年次計画より実施しているが特殊機械設備のため突発的な修繕はあるが最小限に抑えるよう努力している。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

畜産農家はここ数年現状を維持しているが、畜糞回収については役員の努力により全量回収処理をお願いしている。畜産農家が減少傾向にある中で今後の畜糞確保に対する検討が必要である。

記入要領

・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。

・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク区分

S　95.0以上

A　80.0以上95.0未満

B　60.0以上80.0未満

C　60.0未満